

5章

銃剣道のすすめ

■ 銃剣道の理念

銃剣道の理念は、「銃剣道修行の指標」が示す、「たゆまない努力によって心身を鍛錬陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道德性を高め、もって正しく、明るく、強く、逞^{たくま}しい、人間形成を目指して精進する」ことである。

■ 銃剣道の目的

銃剣道は、武士道の美風である、「誠実」「礼節」「勇気」「質実剛健」及び「克己心」を徳目として錬磨し、社会に有為な人間の育成を目的としている。

■ 動作が単純で容易

銃剣道は「突き技」のみで競うので、「突く」「構えに戻る」という単純な動作が基本となる。そのため、初めて銃剣道を行う人にも習得が容易で、「生涯武道」として幼少期から高齢者まで幅広い年齢層で行うことができる武道である。

■ 銃剣道の身体活動

銃剣道の身体活動は、「突く」動作に加えて、技を成功させるために相手の木銃を「打ち払う」「かわす」「押す」といった動作と足さばきが必要となる。併せて、心肺機能・スピード・反応能力・持久力を高めることができ、健康で豊かな社会生活を営むための体力づくりに寄与する。

■ 真髓を極めるには奥が深い

銃剣道の技は、単純で習得が容易である。しかし、単純がゆえに技を出すときは相手の隙を瞬時に見極めなければならない。木銃の操作や技を使う機会を誤ると、好機が一瞬にして危機になってしまう。技を成功させるには、「美しさ・速さ・正確さ」が求められ、真髓を極めるには奥深いものがある。

銃剣道は、この奥深さを探究していくことによって、「知」「情」「意」のバランスの取れた心身の発達を図り、社会への適応力を育成する。

日本武道協議会設立 40 周年記念
「中学校武道必修化指導書」
銃剣道編

【執筆者】

- | | | |
|-------|---------------|----------|
| 石川 慎也 | 尽誠学園高等学校 | 教諭 |
| 滝沢 元気 | 新潟県立月ヶ岡特別支援学校 | 教諭 |
| 丹下 隆之 | 愛媛県立東温高等学校 | 教諭 |
| 菊池 聡 | 盛岡市立飯岡中学校 | 教諭 |
| 宮内 佑輔 | 長浜市立高月中学校 | 教諭 |
| 田村 聖一 | 富士市立富士南中学校 | 教諭 |
| 清水 陽介 | 平塚市立土沢中学校 | 教諭 |
| 鈴木 健 | (公社) 全日本銃剣道連盟 | 副会長兼専務理事 |
| 衛藤 敬輔 | (公社) 全日本銃剣道連盟 | 事業部次長 |

【演武協力】

- 新潟県立三条商業高等学校 銃剣道部

【参考文献】

- 文部科学省『中学校学習指導要領 総則編』平成 20 年 9 月 25 日
文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』平成 20 年 9 月 25 日
(公社) 全日本銃剣道連盟『銃剣道教則』3 版 平成 18 年 日本印刷(株)